

(19)日本国特許庁（J P）

(12) 公 開 特 許 公 報（A）

(11)特許出願公開番号

特開平9－262182

(43)公開日 平成9年(1997)10月7日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 J 37/06	3 2 6		A 4 7 J 37/06	3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数1 F D （全 3 頁）

(21)出願番号 特願平8－99588

(22)出願日 平成8年(1996)3月29日

(71)出願人 000002222

サンウエーブ工業株式会社

東京都渋谷区代々木3丁目25番3号

(72)発明者 福田 丈夫

東京都渋谷区代々木3丁目25番3号 サン

ウエーブ工業株式会社内

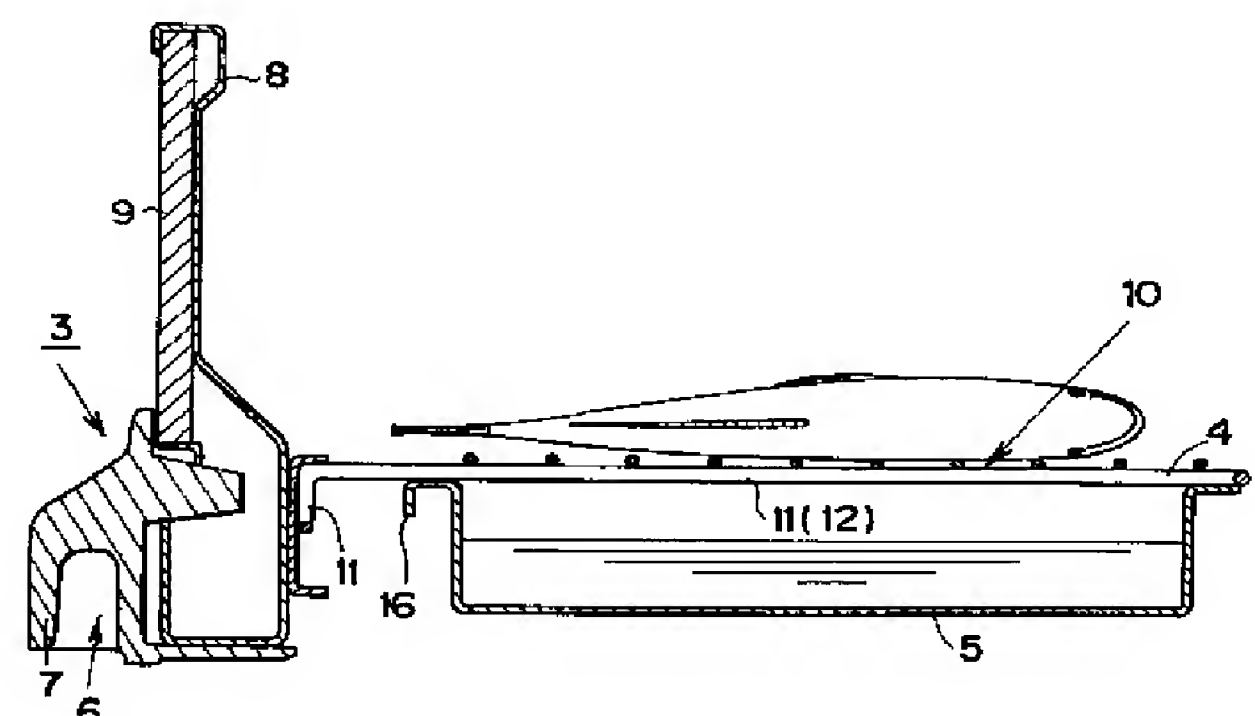
(74)代理人 弁理士 山口 哲夫

(54)【発明の名称】 グリル装置

(57)【要約】

【課題】 加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉を有するグリル装置における魚の出し入れを、軽い操作力で片手でも操作することができる使い勝手に優れたグリル装置を提供する。

【解決手段】 加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉の裏面側に、グリル網の前部を着脱自在に連結してグリル装置を構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉の裏面側に、グリル網の前部を着脱自在に連結したことを特徴とするグリル装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉を有するグリル装置に係り、特に、引き出し操作力が大幅に軽減されるグリル装置に関する。

【0002】

【従来技術とその課題】従来の加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉23を有するグリル装置にあっては、図3に示すように、グリル網24が着脱自在に嵌装されるグリル皿25の手前側辺部25aを、グリルガラス29を保持するグリル扉23のグリルフレーム28の裏面側に、固定バネ30やビスを介して着脱自在に連結して構成しているのが現状である。

【0003】しかしながら、上記グリル皿25がグリル扉23に連結された従来のグリル装置にあっては、例えば、魚を焼いた後にグリル扉23を引き出す場合、グリル網24やグリル皿25の重量に加え、グリル網24に載せた魚31やグリル皿25に収容された水32の重量までが加わって、結果的に非常に重いものを引き出すことになり、片手で魚をグリル室から引き出しにくく、使い勝手が非常に悪い、という問題を有していた。

【0004】この発明は、かかる現状に鑑み創案されたものであって、その目的とするところは、加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉を有するグリル装置における魚の出し入れを、軽い操作力で片手でも操作することができる使い勝手に優れたグリル装置を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、この発明に係るグリル装置にあっては、加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉の裏面側に、グリル網の前部を着脱自在に連結したことを特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、添付図面に基づき、この発明の実施の一形態例を詳細に説明する。

【0007】図1と図2に示すように、この形態例に係るグリル装置は、加熱機器1のグリル室手前側開口部2を開閉するグリル扉3と、このグリル扉3の裏面側に着脱自在に連結されたグリル網4と、上面部に上記グリル網4がスライド可能に載置されるグリル皿5と、から構成されている。尚、加熱機器1のグリル室及びグリル室内の構造は、従来のこの種の加熱機器のグリル室と同様に構成されているので、その詳細な説明をここでは省略

する。

【0008】上記グリル扉3は、図2に示すように、指掛け6が形成されたグリル把手7と、このグリル把手7の裏面側に固着されたグリルフレーム8と、このグリルフレーム8に嵌合固定されたグリルガラス9と、から構成されており、これらで構成されたグリル扉は、上記グリル室の開口面積より若干大きい面積を有し、上記グリル室を完全に閉じることができるよう形成されている。

10 【0009】一方、上記グリル網4は、側面形状が横倒略L字状に形成されており、魚が載置される焼き網部10は、公知のグリル網と同様に各種の網目形状で適宜形成されていると共に、該グリル網4の手前側の垂直辺部11は、上記グリルフレーム8の裏面側に連結バネ（図示せず）等を介して着脱自在に連結されている。勿論、連結手段としては、この他に、単にフック状のものに係止し、或は、ビス等で連結してもよい。

20 【0010】即ち、上記グリル網4の焼き網部10は、少なくとも、その両側辺部12、13が、図1に示すように、上記グリル皿5の両側フランジ部14、15に載置される幅寸法を有して形成され、また、上記グリル網4の垂直辺部11は、上記グリル皿5の手前側フランジ部16よりも手前の位置で上記グリルフレーム8の裏面側に連結されている。

【0011】それ故、この形態例に係るグリル装置にあっては、魚を焼いた後、グリル扉3を手前側に引き出すと、このグリル扉3に連結されている魚が載置されたグリル網4のみが手前側に引き出され、水等が収容された重いグリル皿5はグリル室内にそのまま取り残されるため、軽い操作力、例えば、片手でも容易に焼いた魚を手前側に引き出すことができる。

【0012】また、魚を皿等に移した後は、グリル扉3をグリル室内へと押し込むだけで、グリル室手前側開口部を閉じることでもでき、このときに要する操作力も、グリル扉3がグリル皿5の両側フランジ部14、15に沿ってスライドするだけなので、非常に軽くて済む。

【0013】勿論、グリル皿5を取り出すときには、グリル扉3を手前側に引き出してグリル網4をグリル室から取り除き、その後、グリル皿5の手前側フランジ部16を把持具で把持して手前側に引き出すことで、グリル皿5をグリル室外へと容易に取り出すこともできる。

【0014】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、加熱機器のグリル室手前側開口部を開閉する引き出し可能なグリル扉を有するグリル装置における魚の出し入れを、軽い操作力で片手でも操作することができるので使い勝手が良好である、という効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

50 【図1】この発明の実施の一形態例に係るグリル装置の斜視図である。

3

4

【図2】同グリル装置の要部の構成を示す断面図である。

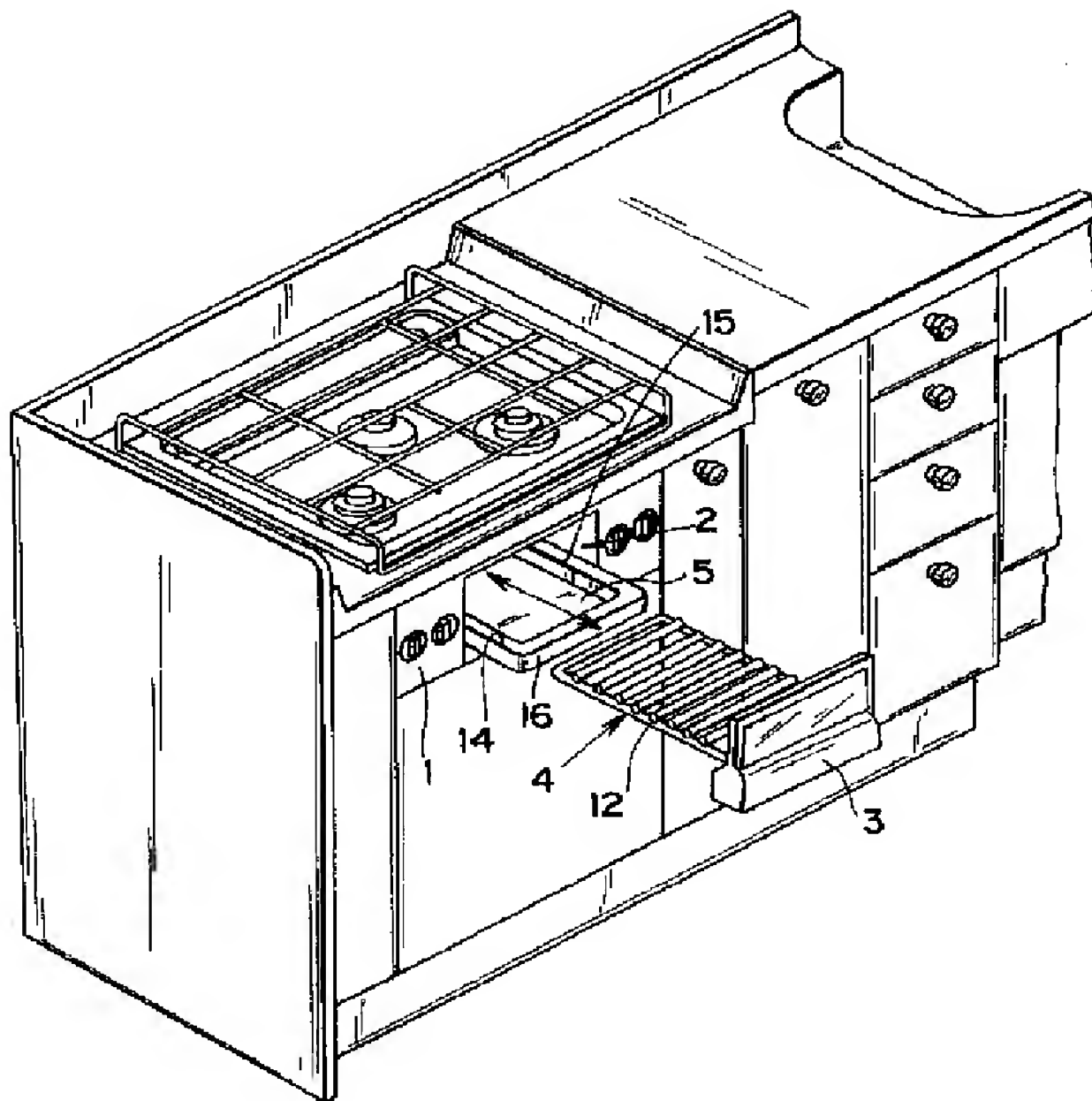
【図3】従来のグリル装置の構成を示す断面図である。

【符号の説明】

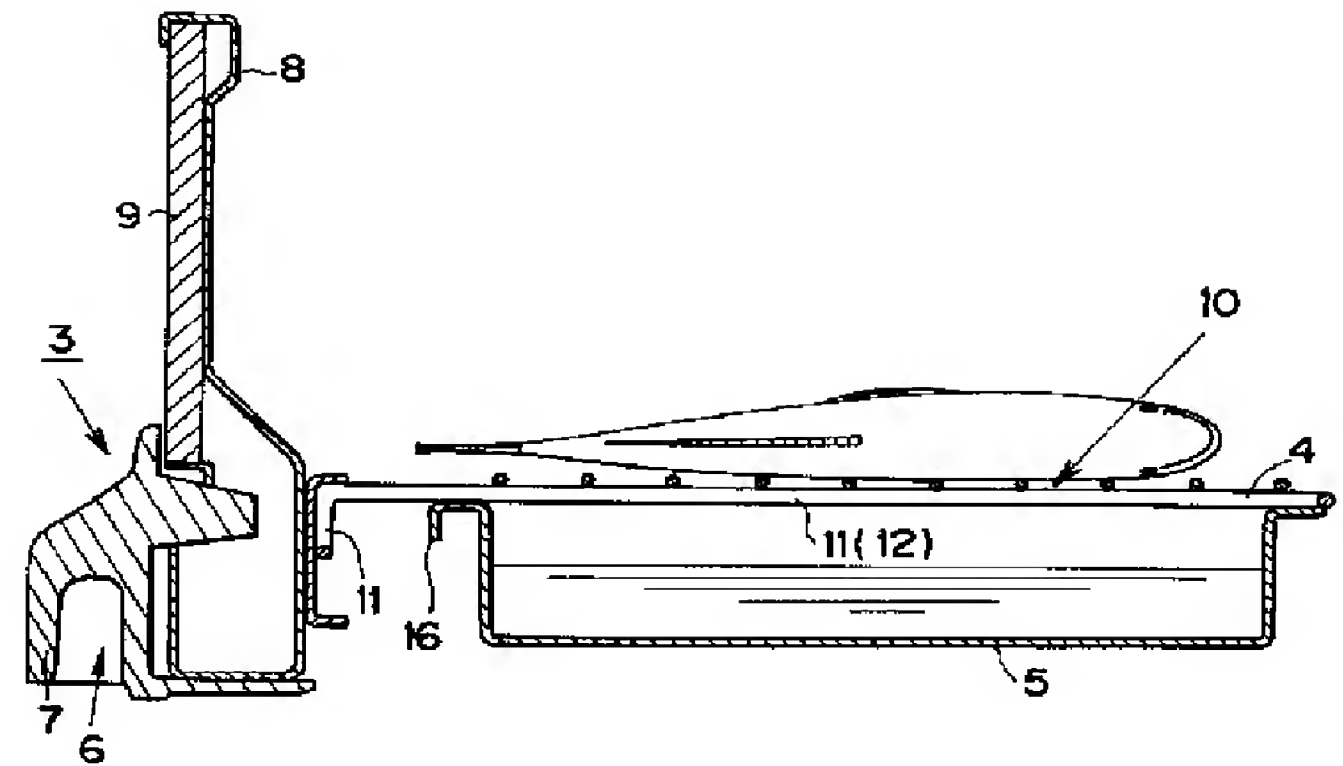
1 加熱機器

- 2 グリル室手前側開口部
3 グリル扉
4 グリル網
5 グリル皿
8 グリルフレーム

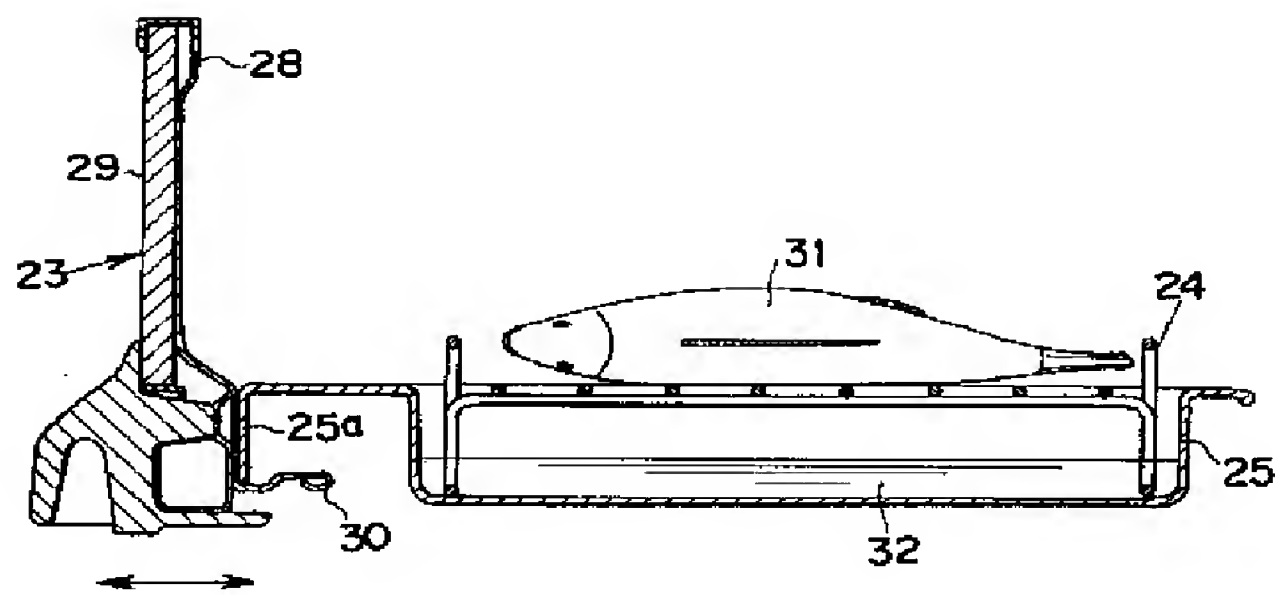
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP409262182A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09262182 A
TITLE: GRILL DEVICE
PUBN-DATE: October 7, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUKUDA, TAKEO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUN WAVE IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP08099588
APPL-DATE: March 29, 1996

INT-CL (IPC): A47J037/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To take in and out fish under the application of a small operating force and even by use of a single hand by detachably jointing the front of a grill net to the reverse side of a grill door drawable for opening and closing the front opening of the grill chamber of heating equipment.

SOLUTION: A drawable grill door 3 for opening and closing the front opening of the grill chamber

of heating equipment has a grill frame 8 fixed to the reverse side of a grill handle 7 having a finger catch 6, and a grill glass panel is fixed to the grill frame 8. On the other hand, a grill net 4 has a side shape formed as a laterally inverted approximate L-shape, and the vertical side thereof on the front of the grill net 4 is detachably connected to the reverse side of the grill frame 8 via a joint spring or the like. According to this construction, the grill door 3 can be drawn toward a user under the application of a small operating force and even by using a single hand.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO